

2017年度 日仏海洋学会学術研究発表会プログラム

期 日 : 2017年6月10日(土) 場 所 : 日仏会館 501 会議室 (東京都渋谷区恵比寿 3-9-25)

参加費 : 正会員 2,000 円、学生会員 無料、非会員 3,000 円、非会員(学生) 1,000 円

9:00 受付開始

9:30~11:00 学術研究発表 午前の部 (各 15 分)

座長 中野 知香 (日本気象協会)

- ① 海底広域研究船「かいめい」による伊豆・小笠原海溝の CTD 採水観測
○内田裕¹・横川太一¹・小野越郎²・前野克尚¹ (1 海洋研究開発機構, 2 気象庁)
- ② 瀬戸内海・四国南方における pCO₂ 濃度長期測定データを用いた解析
○林美鶴¹・山下栄次² (1 神戸大内海域セ, 2 岡山理大)
- ③ 中規模ポリニヤを起源とした南極底層水の生成に関する考察
○北出裕二郎・嶋田啓資 (海洋大)

座長 林 美鶴 (神戸大)

- ④ 南極海水に出現するアイスアルジーの出現数と生死比率
○宮崎奈穂¹・河野洋右² (1 海洋大, 2 水産機構北水研天塩さけます)
- ⑤ 二枚貝養殖の盛んな半開放性内湾 (南三陸町志津川湾) の物質循環過程
○門谷 茂・矢田部創 (北海道大)
- ⑥ Acoustic tracking of the Japanese endemic fish *Lates japonicus* during the spawning season
○S. Gonzalvo¹, H. Tanoue² and T. Komatsu³ (1 Sanyo Techno Marine Inc., 2 National Fisheries University, 3 Yokohama College of Commerce)

11:00~12:00 評議員会

12:00~13:00 昼休み

13:00~15:00 学術研究発表 午後の部 (各 15 分)

座長 奥村 裕 (水産機構東北)

- ⑦ トリプトファンによるトラフグの攻撃性の抑制
○柴田玲奈¹・東照雄²・村田裕子³ (1 水産機構水工, 2 水産機構研究推進, 3 水産機構中央)
- ⑧ 福島県沿岸のキンエビ *Metapenaeopsis dalei* における ¹³⁷Cs 濃度の減少過程
○樋口謙¹・荒川久幸¹・成田美穂¹・山本涼花¹・松本陽² (1 海洋大, 2 福島水試相馬)
- ⑨ 褐藻類アラメ遊走子の基質着生に与える微細堆積粒子の影響
○佐藤 陽・荒川久幸 (海洋大)
- ⑩ サケ *Oncorhynchus keta* の稚魚に対する懸濁粒子の影響
○岸航平¹・小野寺玲¹・荒川久幸¹・松林由里子² (1 海洋大, 2 岩手大)

座長 柴田 玲奈 (水産機構水工)

- ⑪ 福島県松川浦における震災後のアマモ場経年変化
○松本陽¹・成田薫¹・佐藤太津真²・藤田恒雄¹ (1 福島水試相馬, 2 福島内水試)
- ⑫ 長面浦におけるカキの餌料環境について
○奥村裕¹・原素之² (1 水産機構東北, 2 東北大)
- ⑬ 縦延縄漁具の敷設形状について
○上嶋紘生・生井沢知佳・宮崎唯史・塩出大輔・吉田次郎・根本雅生 (海洋大)
- ⑭ 相模湾におけるヨシキリザメの年齢査定
○生井沢知佳¹・上嶋紘生²・宮崎唯史²・吉田次郎¹・根本雅生¹ (1 海洋大, 2 海洋大青鷹丸)

15 : 10~16 : 20 総会

16 : 20~16 : 30 2017 年度日仏海洋学会学会賞および論文賞授与式

《学会賞受賞》 多田邦尚会員（香川大）「沿岸海域の低次生物生産過程と生元素循環に関する研究」

《論文賞受賞》 中村 玄会員（海洋大）「Presence of an interparietal bone and morphological variation in the vertex of the skull in North Pacific common minke whale.」54 巻 1-2 号, 1-10, 2016

16 : 30~17 : 00 2017 年度日仏海洋学会学会賞記念講演

多田邦尚会員

17 : 30~19 : 30 懇親会 肉バル サルー恵比寿店（日仏会館徒歩 1 分） 会費 5,000 円, 学生 3,000 円